

10209その他の繊維工業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2018	1	13 ～ 14	配膳中、2階客室の入口で右手でビールを5本持ち、小上がりに右足から入り、客室に入ろうとしてサンダルを脱ぐときに左足のサンダルが右足に当たり、右足が肉離れを起こした。	55	2	418	10～ 29人
2	2018	1	8 ～ 9	会社の敷地内で工場建屋の入口へ向かって歩いていたときに、空のパレットを数枚積んだ状態で北進してきた社員が運転するフォークリフトに接触し、フォークリフトが積んでいたパレットと地面に左足が挟まれ左足首を骨折した。	70	6	222	50～ 99人
3	2018	1	15 ～ 16	工場でフォークリフトのリフト上の、ビニールの巻物を機械に移すため転がしたところ、土台のプラスチック製パレットが割れて当該巻物が落下し、右足の甲に当たった。当人は地面に立っており、巻物の反対側ではほかの従業員が共に作業をしていた。パレットは巻物（長さ3m、直径20cm）の重みで割れた。	68	4	529	50～ 99人
4	2018	1	9 ～ 10	被災者は、保守工事を行うため、車で向かった。接続道路に到着し進入したが、500m進入したところで、積雪後の凍結により、進入困難と判断し、チェーンを装着するため車を停車させ助手席より下車し、3歩進んだとき、足を滑らせ転倒しそうになり、左手をついた際、骨折した。	44	7	169	50～ 99人
5	2018	2	13 ～ 14	一般工程空バケ搬送エリアのレールを急いでいたため、飛び越えたところ着地時滑り転倒して、右手ひじを床に強打し負傷した。	52	2	419	100～ 299人

6	2018	2	8 ~ 9	工場内でニードルフェルトの製造作業をしているとき、稼働している機械のまわりを見回っていた。カードマシンシリンダーのトランスポーターシャントに絡んだ綿をピッカーで取り除こうとしたところ、綿がよれて糸のようになってしまったので、それを摘まんで取ろうとしたとき、スプロケットとチェーンの間に挟まれ右手中指を負傷した。	44	7	169	10~ 29人
7	2018	2	9 ~ 10	原材料である綿の投入作業をしていたとき、回転部が詰まり、棒を使用し取り除くところ、急いでいたので回転部の中に右手を入れて詰まった綿を取ろうとした際に、中指・薬指は第2、3関節まで挟まれて挫減創となった。	21	7	169	10~ 29人
8	2018	2	11 ~ 12	高さ20cmのプラスチック製の台に乗り、シリンダーに糸を掛けていく作業で、隣の列に取りかかる際、台を移動せずに手を伸ばしたところバランスを崩して足を踏み外した。	57	1	371	1~9 人
9	2018	2	7 ~ 8	敷地を通っているときに、アスファルトの継ぎ目に躓いて倒れ、膝を打ち骨折した。	79	2	418	1~9 人
10	2018	2	16 ~ 17	カード（綿を裁く機械）を掃除していたとき、見つけたゴミを取ろうとして、親指をカードに挟んだ。	40	7	169	-
11	2018	3	14 ~ 15	加工課室内でホットメルト1号機を運転中に張力データを日報に記入するため、1号機東側から南側操作盤正面に上半身の向きを変えたところ、下半身が上半身の動きに付いていけず、片足がもう片足に絡まったことで両足が宙に浮いた状態になり、そのまま左膝から床面に転倒して左膝を骨折した。	42	2	921	100 ~ 299 人
12	2018	3	11 ~ 12	反毛設備第2ドラムにて、稼働中にドラムから異音がしたため、異物の混入の有無を確認しようと電源を落としてからドラム下部の格子窓を外し、手を差し入れたところ、惰性で動いていたドラムに右手を巻き込まれて負傷した。	52	7	169	1~9 人

13	2018	3	23 ～ 24	工場のラインの、上層開織機下部シリンダーの詰まった綿を取り除く際に、治具（ピッカー）使用時にピッカーが滑り落ちてそのまま右腕が機械に巻き込まれて右腕を負傷した。	36	7	169	50～ 99人
14	2018	3	11 ～ 12	事務所から50mくらい離れた社長の自宅へ書類を取りに行った。台所流し台とテーブルの間を通ったとき、すべって転倒、右足付け根あたりを強打した。	68	2	417	1～9 人
15	2018	3	1 ～ 2	工場の原料置き場から空になった一斗缶を屋外の一斗缶置き場へ持っていこうとしたとき、入口のドアが固く開きづらく足元の段差につまずいた。ドアは二重扉になっており、内側のドアの段差につまずいた。その際、外側のドアのガラスに手がぶつかり、ガラスが割れて負傷した。	30	3	417	50～ 99人
16	2018	5	12 ～ 13	2階の作業場内にてマスク製造本機のサブタンク内の汚れをマイナスドライバー、ラジオペンチ、不良品マスクを使用し清掃していた。清掃後マクロメルトが付いたマスクを捨てようとした際に、左手にマクロメルトが付着してしまい、慌てて右手（素手）でマクロメルト付きのマスクをとってしまい右手を火傷、更に左手で取ってしまい火傷箇所が拡大した。	53	11	519	300 ～ 499 人
17	2018	5	15 ～ 16	工場内で網検収をしている作業中に、地面に積まれた網の上に登ろうとして足を踏ん張った際に左足首の靭帯を断裂した。	70	19	379	10～ 29人
18	2018	5	16 ～ 17	食堂の建物で掃除道具を片付けして、食堂から出たとき、出入口にある高さ6cmの段差に足を踏み外し、転倒し右第5中足骨を折った。	38	2	417	10～ 29人
19	2018	5	8 ～ 9	工場内にて、タチ機を使用しウレタンフォームの型切り加工中、タチ機テーブルを固定しウレタンフォームを型に合わせてカットしている際、テーブルの溝にウレタンフォームが引っ掛かりタチ機の刃物に右手指が当たり、右第3、4指の挫創、第5皮膚を欠損した。	64	8	169	30～ 49人

20	2018	6	11 ～ 12	12tパワープレス機で作業中、下型上の加工物が定位置からずれていたため定位置に戻そうとし、右手指を入れたところ先端部を挟まれた。手押しボタン安全機を使用していたが、ボタンを押した直後に手を入れてしまったため事故が発生した。	57	7	154	1～9 人
21	2018	6	10 ～ 11	会社工場内で、商品の入った段ボール箱を移動する際、2階で詰め込み作業が終わり、1階へ移動させるとき、階段で足を踏み外して転倒した。	26	1	413	30～ 49人
22	2018	6	10 ～ 11	事業場内で踏み台に乗ってタオルの積み上げ作業中、タオル束を左側に移動させるため別の踏み台に移る際、タオル束が崩れるのを防ごうとして着地時に左足で踏ん張ったところ、左足脛に激痛がはしり動けなくなった。	44	19	371	10～ 29人
23	2018	6	15 ～ 16	農業用の紐を製造する際、ローラー駆動用平ベルトに付着したゴミを取り除こうとし、ベルトとモーター側プーリーに親指を挟まれた。	59	7	169	1～9 人
24	2018	7	11 ～ 12	裁断工程において、脚立を使用して延反作業中、脚立天板に乗り、生地を伸ばそうとした際に、脚立より転倒し、右5趾中足骨を負傷した。	44	1	371	50～ 99人
25	2018	7	8 ～ 9	整経機で糸を整える仕事で、整経機のローラーに結露があるのに気づき、ウエスで拭き取る際、ウエスと右手がローラーに挟まり、右手を負傷した。	45	7	169	30～ 49人
26	2018	7	9 ～ 10	工場内で油圧パンチャーで鋼板に穴あけ作業中、台座の間に右手中人差し指を挟んでしまい負傷した。	53	7	151	1～9 人
27	2018	7	9 ～ 10	作業終了後、通し針を針の先が剥き出しのまま右手で右耳の間に挟もうとして手が滑り、右手の平に針が刺さった。	39	3	364	30～ 49人
				整毛加工場にて機械ベルトに付着した繊維を取り除く際、機械を				

28	2018	7	14 ～ 15	停止し空気圧縮機のノズルを向けたところ、機械を完全に停止していなかったため、ノズルがベルトに巻き込まれ、右母指、示指、中指の3本を挟まれ損傷した。	27	7	169	1～9 人
29	2018	7	11 ～ 12	物流倉庫内でピッキング作業中、別の作業員の台車の車体が前方不注意により、ピッキング作業員の足首に当たった。	41	6	362	50～ 99人
30	2018	8	12 ～ 13	工場から出て廊下を歩いていた際、床に傾斜があったため足を滑らせ転倒し、右手を床に強く打ち負傷した。	65	2	417	1～9 人
31	2018	8	1 ～ 2	地面に落ちていた紙管止め用のPPバンドが足に引っ掛かりつまずき転落し、右肘と膝をついたとき、骨折・打撲をした。	58	2	417	100 ～ 299 人
32	2018	9	9 ～ 10	機械を使って布団綿製綿作業を行っていた際、静電気が発生して塊になってトラブルが発生し、機械を停止して処理した後、再稼働したが、まだ残っていたので取り除こうと手を出したところ、チェーンとスプロケットの間に右手人差し指が挟まれて負傷した。	59	7	169	1～9 人
33	2018	9	9 ～ 10	機械を使って布団綿製綿作業を行っていた際、静電気が発生して塊になってトラブルが発生し、機械を停止して処理した後、再稼働したが、まだ残っていたので取り除こうと手を出したところ、チェーンとスプロケットの間に右手人差し指が挟まれて負傷した。	59	7	169	1～9 人
34	2018	9	9 ～ 10	機械を使って布団綿製綿作業を行っていた際、静電気が発生して塊になってトラブルが発生し、機械を停止して処理した後、再稼働したが、まだ残っていたので取り除こうと手を出したところ、チェーンとスプロケットの間に右手人差し指が挟まれて負傷し	59	7	169	1～9 人

				た。				
35	2018	9	9 10	機械を使って布団綿製綿作業を行っていた際、静電気が発生して塊になってトラブルが発生し、機械を停止して処理した後、再稼働したが、まだ残っていたので取り除こうと手を出したところ、チェーンとスプロケットの間に右手人差し指が挟まれて負傷した。	59	7	169	1～9 人
36	2018	10	17 18	染色機で作業中、製品に緩みがあったため修正しようとし、回転ハンドルでロールを上昇させた。修正が終わってハンドルを元に戻したとき、軍手と一緒に右手が巻き込まれた。	25	7	163	1～9 人
37	2018	10	22 23	工場で紡績カードの切り替え作業中、フィードローラーに残った前ロットの原料をエアホースで飛ばして除去していた。その際、フィードローラーとテーカインの間に軍手が巻き込まれ、右手を負傷した。	32	7	163	50～ 99人
38	2018	10	10 11	会社内で庭木の剪定中、脚立から落下して左肘を骨折した。	62	1	371	1～9 人
39	2018	11	13 14	工場敷地内で、トレーラー荷台から積み荷を降ろす際、着地時に右足踵を骨折した。	70	3	221	30～ 49人
40	2018	11	16 17	工場内で車両専用マットの製造・検品作業に従事し、複数枚に重なったマット（9～11kg程度）を1日に何度も上げ下げする作業を繰り返していた。直近になって作業量が増加し、右肩腱板を断裂した。	66	19	921	1～9 人
41	2018	11	15 16	工場リベットラインで棚卸し準備中、異なる部品コンテナが積まれていたため、コンテナ上段がずれて落下し、隣でカウント作業をしていた作業者の左手に当たった。	21	4	611	1000 人以上
			16	工場内で、台車に積んであった段ボール箱を2人で抱えて下ろす				1～9

42	2018	11	～ 17	際、段ボール箱から手が滑り、後方へ倒れて首を痛めた。	68	6	921	人
43	2018	11	～ 14	13 しばり機の上で作業を終え、しばり機から下りる際、地面にある ブロックに足を乗せようとしたところ踏み外し、右足を負傷し た。	32	19	419	10～ 29人
44	2018	12	7 ～ 8	工場の入口で、ガラス繊維のマットが入った段ボールケース（28 cm四方、長さ188cm、重さ67kg）が16本パレットに立ててあったの を、巻いてあったラップとPPバンドを外した。残り14本が載った パレットをリフトで移動するため、3人で回りを手で押さえて、リ フトが動いたところ、本人が押さえていたケースが倒れてきたた め、支えきれず転倒し、脳挫傷を負った。	64	5	611	10～ 29人
45	2018	12	9 ～ 10	切ったロープをBOXパレットに入れるために中に入り、後ろ向き に出ようとしたところ、足が引っ掛かりバランスを崩した。倒れ るときに床に手をつき、左手首を骨折した。	64	2	416	30～ 49人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。